


おおふなと 社協だより

 ふれあいネットワーク



2016年8月号

【特集】地域の課題は地域で解決を……………2~3
第33回大船渡市社会福祉大会開催……………4
新しい役員（理事・監事）が決まりました…4
70周年赤い羽根共同募金運動……………5
婚活イベント「浴衣de屋形船」……………5
お知らせ……………6~7
輝き人……………8



今月の表紙

このしゅういち みか
今野秀一さん・美香さん
みさと しゅうたろう
美里ちゃん(小6)、秀太郎くん(小5)、
ここみ
心美ちゃん(小2) (猪川町在住)
「家族全員野球大好き！」

住み慣れた 家庭や地域で 生き続けられるように



～地域の課題は地域で解決を～

大船渡市の65歳以上の高齢者の割合は3割を超え、今後、要介護認定者が増加することが予想されています。平成27年に大船渡市が実施したアンケート調査によると、高齢者の意向として、施設入所よりも在宅で暮らしたいと考えている方が多く、全体の40%を超えています。

しかし、近年、介護従事者の不足が課題となっており、10年後には、さらに深刻になると言われていることから、希望どおりの在宅福祉サービスが受けられないことも考えられます。

住み慣れた地域で暮らし続けるためには、介護予防活動に取り組んだり、健康管理を行うといった「自助」が大切ですが、「自助に限界がきた時には、人と人同士が支える「互助」が必要となります。「互助」で難しい課題には、介護保険などの「共助」、それでも支えることができない課題に対しては、最終的に生活保護などの「公助」が対応します。

●地域助け合い協議会が 目指しているもの

大船渡市では、市内11地区で地区版の地域助け合い協議会の設立を促しています。すでに、蛸ノ浦地区、吉浜地区、盛地区で設立さ

れており、その他の地区でも、設立に向けた取り組みが活発になってきています。

この助け合い協議会は、市からの委託で、支援の担い手の養成や発掘、関係者とのネットワーク化などを行いながら、地域の困りごと（生活課題）に合わせた生活支援体制の構築とふれあい交流活動を創出する役割を担います。

ヘルパーなどの専門職が必要な時には介護サービスを利用し、地域組織や支え合いでできることは協議会が目指すところです。

●住民支えあいマップによる 生活課題の掘り起し

生活課題把握の手法の一つに、住民支えあいマップづくりがあります。

このマップは、50世帯から100世帯を単位とし、住民の関わり合いを線で結びながら、要援護者に誰が関わっているかなどを調べ、その方の生活課題を掘り起こしていきます。これにより、個人の生活課題と地域の生活課題の両方を見える化することができますが、生活課題の掘り起こしだけでなく、その対応策を住民の力で見つけ、解決していくことが重要です。

平成26～27年度に、社協と共同で住民支えあいマップづくりに取り組んだ盛地区民生児童委員協議会会長の西村文二さんは、「地域のことは何でも分かっているつもりだったが、見落としていた要援護者に気付くことができた。要援護者と住民との関係性が見える化されることで生活課題を把握することもできた。これからは、それをどう活用していくかが大事だ」と話します。

掘り起こされた生活課題には、ごみステーションやバス停が遠い、高齢者の集まる場所がない、病院へ行く手段がない、買い物する店が近くにない、雪かきをしてくれる人がいないなど、日常生活上の困りごとや外出に対するものが多くみられました。

●生活課題を 高校生の視点で考える

今年度、大船渡高校2年生は、授業の一環で、大船渡市の現状と課題を知り、主体的に地元貢献す



るかたちを考える仮説検証型の学習をしています。

そのうち、女子生徒4名が、子育て環境に関して、「本来は、安心して子育てをしたり、子どもが遊べる町であるべきだが、実際は、頼れる人がいないので、遊ぶ場所や人と交流する機会がない」という仮説を立て、社協が実施しているつどいの広場へ検証に来ました。

担当職員から、子育て支援に関する国、県、市、社協での取り組みについて説明を受け、子育て中である利用者へインタビューすることで仮説を検証した後、高校生である自分たちだからこそできることについて考えを深めました。

●地区担当制導入で、生活課題を把握

社協では、今年度から、正職員と常勤嘱託職員を5つの班に編成し、各地区で開催されている各種会議等へ出向いています。

そこで得られた生活課題のうち、社協が実施している福祉サービスで解決できるものについては、そで対応し、他機関へ繋げることで解決できるものについては、すみやかに他機関へ繋がります。解決に時間を要するものについては、支援のあり方等を地域や関係機関



拡大した住宅地図にシールを貼ったり、ペンで書き込みをしながら生活課題を掘り起こしていきます



8月3日に立根地区民生児童委員協議会定例会へ出席させていただきました

と連携し、継続して取り組みます。住み慣れた家庭や地域で暮らすための支援として、社協で実施している主な福祉サービスは下表のとおりです。詳しくは、事務局（電話27-0001）へお問合せください。

社協が提供する生活課題別福祉サービス

対象者	生活課題	福祉サービスの内容	事業名
子ども 妊産婦 子育て 世帯	相談できる相手がない	育児相談、各種サービスの利用支援	利用者支援事業
	交流の場がない	親子の交流の場の提供と交流の促進	地域子育て支援拠点事業
	子育てを手伝ってくれる人がいない	用事がある時の子どもの預かり	ファミリーサポートセンター事業
低所得 世帯	自分では問題を解決することができない	生活立て直しのための支援プランの作成	生活困窮者自立支援事業
	仕事に就くのが難しい	就労準備のための研修プログラムの提供	生活困窮者等就労準備支援事業
	生活資金が不足している	資金の貸付	生活福祉資金貸付事業 たすけあい金庫貸付事業
高齢者 障害者	お金や通帳の管理に不安がある	金銭管理	日常生活自立支援事業
	一人で過ごす時間が長い	居場所づくり	地域サロン
		生きがいづくり	生きがい健康づくり事業
		安否確認	おげんき見守りシステム
	外出が困難である	福祉車両の貸出	リフトバス貸出事業
		移動のサポート	障害者等移動支援事業
	介護を要する状態で、自力では自立した在宅生活を送ることが難しい	介護相談、ケアプランの作成	居宅介護支援事業
		身体の清潔保持や調理などの生活支援	訪問介護・居宅介護サービス事業
		自宅での入浴介助	訪問入浴介護・障害者等訪問入浴サービス事業
	家の周りの草取りや草刈りができない	費用の一部助成	鈴木京子さんまごころ事業
寝起きや移動が困難である	介護用ベッド、車いすの貸出	福祉機器リサイクル事業	
目から情報を得ることができない	音声訳図書の貸出	声の福祉図書館事業	

「誰もが安心して幸せに生活できるまち」を目指して 第33回大船渡市社会福祉大会開催

7月23日に三陸公民館で開催した社会福祉大会では、多年にわたり社会福祉の発展に尽力された方々を表彰しました。

また、住民主体の福祉のまちづくりを進めるため、多田そうべい氏（大人の寺子屋主宰／作家・歌手）による講演会も実施しました。

今大会における受賞者は次の方々です。（順不同・敬称略）

○表彰受賞者

（社会福祉事業功労） 富澤悦子、永沢チヨ、鈴木佑典、新沼紀三、藤原邦雄、伊藤隆、鈴木順、千田明枝、千葉寿美子、磯谷敏恵、佐藤カツ、新沼チヨ、伊勢勝寛、新沼久平、佐々木芳子、池之上チヤ子、小野寺剛、中村忠治、及川由己

（ボランティア活動功労） 大友たつ子、今野加代子、村上トク子

（共同募金運動功労）（福）

台ヶ丘学園・大船渡保育園、（福）盛愛育会・盛保育園、（福）猪川愛児会・猪川保育園

○感謝状受賞者

岡澤潔子、菅原優、古内嘉典、新沼邦夫、佐々木仁也、村上敬二

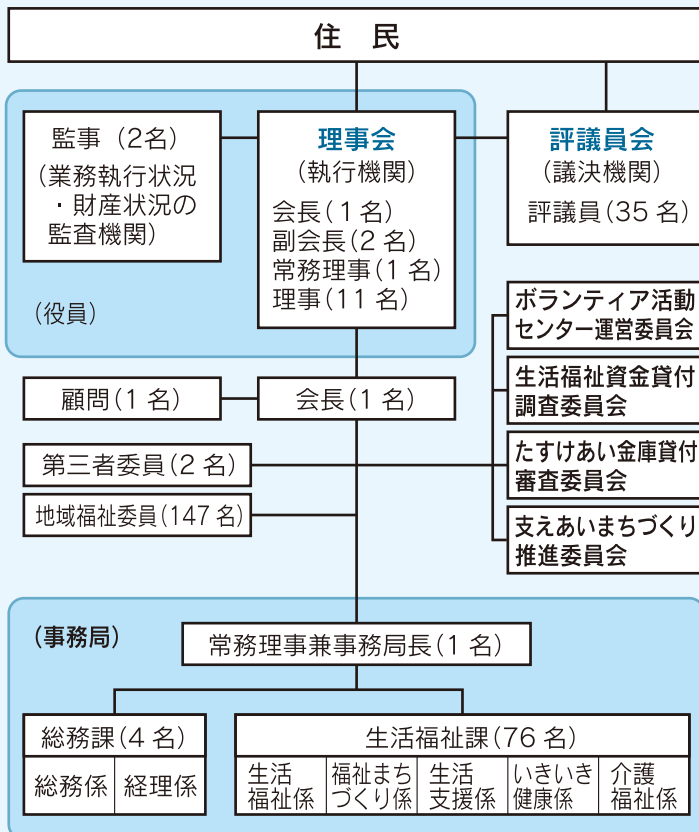
受賞者からのコメント

（末崎町 新沼紀三さん）

平成15年5月から末崎保育園の理事として、平成22年3月からは理事長として児童福祉に関わってきました。機会があれば、保育園での福祉に関する取り組みについて事例発表する場があると良いと思います。



大船渡市社会福祉協議会 組織図



この度、役員任期満了に伴い、新役員を選出し、理事の互選により会長と副会長が選任されました。これにより、社協の新体制が整いました。（顧問）新沼義雄（会長） 田村福子（副会長） 遠藤喜隆、新

沼真作（常務理事）寺澤英樹（理事）阿部英氣、鎌田昭一、熊谷喜一、山下夕エ子、橋本千賀子、伏木崇人、田村敏夫、今野隆子、刈谷喜記、内出幸美、佐々木憲江（監事） 上野博幸、鈴木了子

新しい役員（理事・監事）が 決まりました

任期 平成28年8月1日
～平成30年7月31日

70周年赤い羽根共同募金運動

〜じぶんの町を良くするしくみ。〜

赤い羽根自動販売機が大船渡市にも設置されました。

新たな募金運動として広がりを見せている赤い羽根自動販売機は、飲料を購入の際、その売り上げの一部が共同募金に寄付されます。この自動販売機が、今年度になってから市内に12台設置されました。

町の人のやさしい気持ちがあきつと、この町を変えていくはじめの一步となるはずです。赤い羽根マークの自動販売機を見かけましたら、どうぞご利用ください。

熊本地震災義援金

熊本地震で被災された方への義援金は、平成28年7月31日現在、662,138円になりました。7月には、末崎中学校生徒会から義援金が寄せられました。

赤い羽根募金自動販売機設置状況

設置者	設置先	台数	設置業者(協賛企業)
大船渡市農業協同組合	綾里支店駐車場	2	(株)ミチノク 大船渡営業所 
	大船渡支店	1	
	日頃市支店	1	
	給油所	1	
	洗車場	2	
	グリーンセンター	1	
	本所	1	
	介護支援センター	1	
大船渡市身体障害者協会	大船渡市総合福祉センター	1	
オープンハウスいやしの村	大船渡市Y・Sセンター	1	

婚活イベント 浴衣de屋形船

6組のカップルが誕生しました!

7月30日に、屋形船「潮騒」で、今年度の婚活イベント第一弾である「浴衣de屋形船」を実施しました。

この日、素敵な出逢いを探して参加した方は、男性13名、女性10名。カラフルな浴衣や粋な甚平を着て、夜の大船渡湾を周遊しながら時間を共有した結果、6組のカップルが誕生しました。

このイベントの実施にあたっては、多くの企業、団体のみなさんからご協力をいただきました。ありがとうございました。

協力企業・団体 (順不同)

大船渡市結婚相談・支援センター、屋形船「潮騒」、柳本美容室Lucia、(株)アマタケ、活酒やあらし、居酒屋舞、エムスタイル・ゴマ、沿岸広域振興局、大船渡温泉、大船渡警察署、大船渡市市民活動支援センター、大船渡市体育協会、大船渡市役所、大船渡商工会議所、オーシャンビューホテル丸森、KAAZZAN、活魚すこう、カフェドカリニコ

ジカ、カフェユキグランパ、がんばっぺし、クボホームセンター大船渡店、恋し浜ホタテデッキ、SAN EN、ZAP、ザ・バーガー・ハーツ、三陸鉄道(株)、新生活創造館サン・リア、ZEN、星和工業(株)大船渡営業所、泰州、太平洋セメント(株)大船渡工場、大和商事(株)盛給油所、ちいぜる、ちっちゃなクレイプ屋さん、地方卸売市場大船渡青果(株)、東北電力大船渡営業所、バーギー、ハイズカフェ、Hanana美、英よし地ノ森店、美容室フランセ、ファミリーマート(赤崎店)、立根店、地ノ森店、宮の前店、ふくろう整骨院、ブックポイ大船渡店、ブックポートネギシ猪川店、ポルコ・ロツソ、末崎地区公民館、丸橋とうふ店、焼肉冷麺ビービー、養老乃瀧盛店、らーめんランド大船渡店、LOVOA、ル・トレフル、れすとらん海、ロータス今野、Yショップちば梅、オアゾースイーツ、喜之助屋、(福)成仁会、(福)大洋会、(福)典人会、猪川保育園、立根保育園、マ・シエリ、大船渡市農業協同組合、綾里診療所、綾里地区コミュニティ施設・綾姫ホール

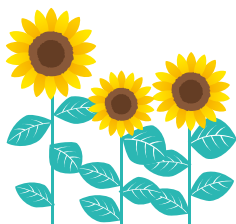
タオル、飲み物、汗拭きタオル、その他必要なもの

*ボランティア関連情報

点字教室開講

点字の体験や習得をはじめ、目の不自由な方々への理解を深めることを目的とした点字教室を開講します。(申し込みが必要です。)

- 開講日 全5回(いずれも火曜日)
8月30日、9月6日、13日、20日、27日
- 時間 午後7時～9時
- 会場 大船渡市総合福祉センター(学習室)
- 講師 点字サークル「つばさ」、美杉会大船渡
- 受講料 無料
- 定員 15人
- 申込〆切 8月29日(月)
- 担当 鈴木、菅原



*生きがい・健康づくり情報

陶芸教室受講者募集

創作活動の楽しさを味わいながら、趣味の幅を広げることを目的として、初心者を対象とした陶芸教室を開講します。(申し込みが必要です。)

- 開講日 全12回(いずれも水曜日)
9月7日、14日、21日、28日、10月5日、12日、19日、26日、11月2日、9日、16日、30日
- 時間 午後1時30分～午後4時
- 会場 大船渡市Y・Sセンター(ワークセンター)
- 講師 菅野眞一さん(陶芸サークル「一点舎」)
- 受講料 1,000円(その他、施設利用料と材料費は自己負担)
- 申込〆切 9月1日(木)
- 担当 只野、菅原
- その他 希望する方には道具セットを斡旋します。

キッズ水泳教室受講生募集

年長児と小学1年生を対象とした水泳教室を開講します。申し込みが必要です。

- 日時 9月25日(日)午前10時30分～午前11時30分
- 定員 先着20人
- 受講料 無料(ただし、プール利用料は自己負担)
- 申込〆切 9月24日(土)
- 担当 多田



「募集」「イベント」「お知らせ」など暮らしに役立つ情報をお届けします。

申込み・お問合せ先 大船渡市社会福祉協議会 ☎0192(27)0001(代表)

*支えあいまちづくり事業情報

陽だまりサロン

どなたでも参加できるサロンです。お気軽にご参加ください。

陽だまりサロン日程(9月)

開催日	会場	時間
2日(金)	吉浜地区拠点センター	午前10時～正午
13日(火)	碓石コミュニティセンター	
14日(水)	鷹生公民館	
16日(金)	下中井公民館	
20日(火)	日頃市地区公民館	
23日(金)	綾姫ホール	
27日(火)	猪川地区公民館	午前10時～午後1時

*子育て関連情報

おでかけひろば

子育て親子の交流の場です。いずれも午前10時から正午まで開設します。

おでかけひろば日程(9月)

開催日	会場	時間
10日(土)	サポートセンターおたすけ	午前10時～正午
13日(火)	サポートセンター鷗	
20日(火)	サポートセンターとみおか	
24日(土)	サポートセンターさんそん	
28日(水)	カリタス大船渡地ノ森いこいの家	

ママのためのヨガ教室

家事や育児で疲れた体と心をほぐす、ゆったりヨガ教室です。ジャージなど動きやすい服装でお越しください。お子さんと一緒に参加できます。

- 日時 9月17日(土)午前10時～正午
- 会場 大船渡市Y・Sセンター(教養娯楽室)
- 受講料 無料
- 講師 佐藤頼子さん(ヨガインストラクター)
- 持ち物 ヨガマットまたは大きめのバス

介護のしごと相談

キャリア支援員が介護の仕事や職場に就職を希望する方などの相談に応じます。

介護のしごと相談(9月)

開催日	会場	時間
5日(月)	Y・Sセンター	午前9時～午後4時
8日(木)	ハローワーク	午前10時～正午
12日(月)	Y・Sセンター	午前9時～午後4時
26日(月)	Y・Sセンター	午前9時～午後4時

介護のしごと再就職応援講座

介護職に従事した経験があるものの現在は介護職に従事していない方や、以前取得した介護資格を活かしたいとお考えの方などを対象とした講座です。希望者には、求職活動証明書を発行します。(申し込みが必要です。)

- 日時 9月27日(火)午後1時～5時
(受付 午後0時30分から)
- 会場 大船渡市総合福祉センター
- 定員 先着20人
- 受講料 無料
- 担当 岩手県福祉人材センター 坂本さん、
電話(080-8201-0200)、FAX(27-0800)



筋力測定会開催

1分間で筋力量、体脂肪量、水分量がわかる筋力測定会を開催します。

- 日時 9月24日(土)午前10時～正午、午後1時～3時
- 会場 大船渡市Y・Sセンター(エントランスホール)

寄附受入の報告

7月に次の方々からご寄附をいただきました。ありがとうございます。(敬称略)

復興支援金

Y・Sセンターご利用のお客様(募金箱)

福祉基金

陶芸サークル一点舎、乾水窯

* 厚生労働省岩手労働局委託事業
「シニアワークプログラム地域事業」

介護技能講習

55歳以上の就職を希望する方々の再就職・雇用の実現を支援する講習会です。

- 日時 平成28年8月29日(月)～9月2日(金)
- 会場 シーパル大船渡
- 定員 15名
- 受講料 無料
- 申込 ハローワーク大船渡
- 照会先 キャリアバンク(株)
電話 022-395-5923



- 9月号課題 「雑詠」
- 締め切り
9月5日(月)必着。
1人1句。(自信作をひとつ)
はがき使用。
- 投句先
立根町字下欠 125-12
「Y・Sセンター」内
大船渡市社会福祉協議会
「ふくし川柳」係
- その他
作品によっては、
添削する場合があります。

「下五」の着地が見事だ。
祭りのために長い期間、準備を重ねてきた山車などが少しづつその形を現す。そして祭りの当日。老若男女が一体となって、町全体が祭り一色に彩られる。すべてを忘れて生き返るのである。

祭りの日 すべてを忘れ 生き返る

越・平田 栄夫

《佳作》

夏祭り浴衣も躍るうちわ風
何もかもあとの祭りかしみじみと
小包の隅に祭りの母の味
お囃子に反応早い祭り好き
健康で祭りに参加できる幸
祭り好き躍動感に血が騒ぐ
少子化で祭り半纏箱の中
飛び入りで場を盛り上げる祭り好き
被災地に心も躍る笛太鼓

大・新沼都紀子
末・滝田 澄子
大・吉田 國子
吉・千葉 元子
日・佐藤アサ子
赤・金野トミ子
立・武田 みつ
赤・志田 トミ
立・安居 信子

「ふくし川柳」

課題「祭り」

富谷英雄 選
投句数12句

輝き人

さとうひろし
佐藤寛志さん(42歳)



特定非営利活動法人「三陸ボランティアダイバーズ」理事長。
震災後、三陸の海に潜り海中のがれき撤去に尽力した。現在は地元漁業者と連携し、越喜来湾でのダイビング事業をスタートし、多くの人に三陸の良さを伝えている。花巻市石鳥谷町出身、大船渡市に昨年秋に移住。

横のつながりを大事にしなが まちを盛り上げていきたい！

●理解を得られた矢先の震災

震災前から、三陸の観光資源開発として、三陸の海でのダイビングスポット開拓をしていました。始めた頃はなかなか理解が得られず苦労しましたが、徐々に思いが通じた矢先に震災が発生しました。

震災後は全国からボランティアを募り、海中のがれき撤去に取り組んできました。

●思いが形となった

「ホタテデッキ」

地元の漁業者にも協力してもらいながら、ボランティアと一緒に海中のがれき撤去に取り組む中で、交流が生まれまし
た。しかし、ボランティアと漁

師との交流人口が多いにも関わらず、両者が集まれる「場所」がない。ないものは作ろう、というところで、恋し浜駅前に「恋し浜ホタテデッキ」を建てました。このログハウスとデッキは、地元の漁師とボランティア、みんなの心の込められた手作りです。

●新しい浜の文化を

つくりたい

現在、住田町から木造の仮設住宅2棟をホタテデッキへ移築するための準備を行っています。将来的にはそこで新鮮な海の食材を使ったメニューを提供する食堂をオープンさせたいです。また、地域の方が気

軽に集えるコミュニティスペースとしても活用してほしいです。

現在も月に一度、地元漁師が講師となり、ウニやホタテなどが成長するまでを実践しながら学べる「浜の学び舎」を開催していますが、今後は地元の料理上手な方を講師に料理教室も開きたいです。大船渡に来てから出来た「横のつながり」を大事にしなが、ダイビング事業と並行したまちづくりを指しています。



海中のがれき撤去の様子